

平成 30 年度
長野県木材青壮年団体連合会

理事予定者会議



平成 30 年 4 月 14 日 (土)

長野木材協同組合

日本木材青壮年団体連合会 綱領・会歌

綱 領

われわれ木青連は

おなじ世代の木材人として
交流を深め相互の啓発につとめよう

若い英知と情熱を結集し
不屈の精神をもって行動しよう

木材界の発展を通じ
よりよい社会を建設しよう

会 歌

一、木を愛し木と共に

暮らしの基を 育くみて

未来のために世のために

広く普及^{った}えた 木の香り

ああ 我ら

木青連の心意気

二、木を学び 木に求め

あまねく同志^{とも}と たずさえて

相互^{たがい}の力 結びあい

文化日本を 拓くのは

ああ 我ら

木青連の理想なり

三、木に育ち 豊かさを

伸びゆく我ら 若人が

若き叡知と 情熱で

明日の社会を 築くのは

ああ 我ら

木青連の使命なり

長野県木青連平成30年度 理事予定者会議 次第

日時 平成30年4月14日(土) 15:30～17:30

場所 長野木材協同組合

- 1 開会の辞
- 2 会歌斉唱並びに綱領唱和
- 3 出席者確認
- 4 会長予定者挨拶
- 5 直前会長予定者挨拶
- 6 資料確認及び字句訂正
- 7 連絡報告事項
- 8 議長指名
- 9 審議事項
 - ① 開会宣言
 - ② 議事録作成人指名
 - ③ 定足数確認
 - ④ 議題採択

第1号議案	平成29年度第4回理事会議事録(案)承認の件
第2号議案	平成30年度事業計画(案)承認の件
第3号議案	平成30年度事業予算(案)承認の件
第4号議案	第59回県会員中信大会開催(案)承認の件
第5号議案	第1回理事会開催(案)承認の件
- 10 協議事項
- 11 会団事業・活動報告
- 12 第59回県会員中信大会について
- 13 監事講評
- 14 閉会の辞

【連絡報告事項】

1 会議・事業経過報告

2 出向者活動報告

木材活用委員会 (委員長：田中俊章 副委員長：土倉・寺西 委員：宮崎)
木育推進委員会 (副委員長：印出)

3 正副会長連絡事項

■理事会について

- ・服装についてはスーツ(ジャケット)、ネクタイ、バッジ着用
(ただし 6～10 月についてはクールビズを推奨)
- ・会議中は携帯電話をマナーモードにするか電源をお切りください
- ・会長および直前会長の挨拶、監事講評、会歌斉唱、綱領唱和の際は
ジャケットを着用しパソコンは閉じてください

4 会員動向

物故者の確認について

対象	会員及び歴代会長
期間	平成28年4月1日から平成29年3月31日まで
報告期限	平成29年4月6日(月)まで
報告内容	亡くなられた方のお名前、年齢、会社名、役職、日時等

連絡先	平成29年度事務局長予定者 宮崎 淳貴
TEL	0269-82-3118
FAX	0269-82-4156
E-mail	junki.m@jeans.ocn.ne.jp

会議・事業経過報告

3 月	9 日	日本木青連理事予定者会議	東京	江東区産業会館
3 月	19 日	正副会長・事務局引き継ぎ会議	長野	林業センター
4 月	8 日	日本木青連第1回理事会	東京	江東区産業会館
4 月	14 日	理事予定者会議	長野	長野木材協同組合

会員動向

平成 29 年度 卒業会員

[東信木青連]

新井 藤弘 (あらい ふじひろ) 君
武重

中嶋 豪 (なかじま つよし) 君
中島木材 株式会社

平成 29 年度 退会会員

[北信木青連]

白石 直人 (しらいし なおと) 君
竹原木材 株式会社

[東信木青連]

田中 雄介 (たなか ゆうすけ) 君
本原木材 有限会社

[松本材青会]

赤羽 洋紀 (あかはね ひろのり) 君
赤羽工業 有限会社

平成 30 年度 新入会員

[北信木青連]

宮澤 遥 (みやざわ よう) 君
宮澤木材産業 株式会社

坂田 庄蔵 (さかた しょうぞう) 君
坂田木材 株式会社

[東信木青連]

田中 博文 (たなか ひろふみ) 君
和木材 株式会社

松木 達征 (まつき たつゆき) 君
有限会社 伊藤木材

中嶋 章 (なかじま あきら) 君
中島木材 株式会社

小林 寿徳 (こばやし としのり) 君
小林木材 株式会社

(第1号議案)

平成29年度 第4回定例理事会 議事録(案)

日 時 2月17日(土)

場 所 教育文化センター2階

【出席者】※予定者割愛

- ◎ 会 長 田中 一興
- 直前会長 土倉 宜也
- 監 事 中澤 勝成
- 監 事 田中 俊章
- ◎ 代行副会長 田中 雄介 <欠席>
- ◎ 副会長 寺西 勝
- ◎ 副会長 澁澤 一吉
- ◎ 北信木青連 会団長 山崎 泰雄
- ◎ 北信木青連 副会団長 白石 直仁
- ◎ 東信木青連 会団長 土屋 善樹
- ◎ 東信木青連 副会団長 齋藤 篤
- ◎ 松本材青会 会団長 大和 俊英
- ◎ 松本材青会 副会団長 池田 剛
- ◎ 事務局長 赤羽 洋紀
- 事務局次長 池田 剛
- 事務局次長 山浦 豊弘
- 事務局主事 松本 寿弘
- 日本木青連 出向 監事 印出 晃 <欠席>
- 日本木青連 出向 会団長 田中 一興
- 日本木青連 出向 木育推進委員会副委員長 土倉 宜也
- 日本木青連 出向 木育推進委員会委員 田中 俊章
- 日本木青連 出向 木材活用委員会委員 寺西 勝
- オブザーバー 日野原 和仁
- 〃 島田 直政

出席者数14名 ◎印は理事

議事録作成指名 池田事務局次長

定足数確認 理事11名中、出席10名 委任状1名 欠席1名 成立いたします。

第 1 号議案 平成 2 9 年度 第 3 回定例理事会議事録(案) 承認の件
平成 2 9 年度 臨時理事会議事録(案) 承認の件
田中会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

第 2 号議案 平成 2 9 年度 P R カレンダー幹旋事業決算報告 (案) 承認の件
寺西副会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

- ・ カレンダー企業名の整理、各団体ごとの確認を
リストにある企業は過去に作成し版がある状態の企業です。

第 3 号議案 平成 2 9 年度 40 回児童生徒木工工作コンクール決算報告 (案) 承認の件
澁澤福会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

第 4 号議案 平成 2 9 年度信州バザール決算報告 (案) 承認の件
寺西副会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

- ・ 名予定者数が早くに終わってしまったので、信州バザール実行委員会と協議し
て、数を増やすのもあり、補助以外に販売も有りなのか確認していけばどうか。

第 5 号議案 平成 2 9 年度木青連の森ラブグリーン事業 (案) 承認の件
寺西副会長より上程

- ・ 名簿は、4 4 名分ありますが、各階に配ったほう良いですか。
(北信) 名簿は、個人情報になるので出さないほうが良い。県大会の、どのタイ
ミングでやるかを検討したほうが良いと思います。
(東信) せっかくなので多くの人に参加してもらえればと思います。
(松本) 出席者に、当時子供でも今は大人になっているので、イスキットでなく、
違う物の方が良いのではないかと。

挙手にて採決 挙手多数 承認

第 6 号議案 平成 3 0 年度長野県木青連役員 (案) 承認の件
田中会長より上程

(役員選考委員会) 議事録

(東信) 話し合いを行いました、どうしても選出できない状況になりました。

(北信) 澁澤さんが受けてくれることになり、土倉さんが福を受けてもらい、北信全体でバックアップをしていきたいと思います。

今後の順番は、

北信→東信→松本→東信→北信で順番を戻すようにする。

人事案件の為、拍手にて採択 拍手多数 承認

第7号議案 平成30年度理事予定者会議開催(案) 承認の件
田中会長より上程

4月14日(土)に開催決定

挙手にて採決 挙手多数 承認

第8号議案 平成30年度県会員松本大会開催(案) 承認の件
田中会長より上程

4月28日(土)に開催決定

今年は、ラググリーンの関係もあり、担当地区での県大会にならない状況になっています。澁澤会長と連携して進めていきたいと思っています。

挙手にて採決 挙手多数 承認

協議事項

・松本さんから、会長・副会長・直前の三役で、県庁・中部森林管理局に挨拶周りを行う。また宮崎理事長から、局長が新しく就任するので、局長と木青連の懇親会を予定していくように。

・荒井さんが卒団になる中、特別会員を設けて会に残れるようにする。
会則の変更。各階段に属するようにする。
定年は各会団で決めているので、各会団で特別会員を設けるようにする。
特別会員の定義は、各会団で定めて、理事会での承認とする。
全国の登録は行わない。
内容をまとめて、次回に会則(4.会員及び5.会費及び会計)を確認する。

議事録作成人 平成29年度 事務局次長 池田 剛

(第2号議案)

平成30年度 長野県木青連事業計画(案)

長野県木材青壮年団体連合会

平成30年度会長予定者 澁澤 一吉

【スローガン】

「温故知新と共に前へ」

【会長指針】

- 1 木青連活動を通じて、個々の木材に関するスキルをアップさせ、更に前に進める環境を作る
- 2 今まで培ってきた歴史や事業を生かし、更なる活動のアピールを行う
- 3 他団体・他業種・先輩方情報の交換や、交流を深める

木青連の綱領に「若い英知と情熱を結集し不屈の精神をもって行動しよう」という一文があります。木材人として未だ若い我々が集まって色々なアイディアを持ち寄り、あまたの苦難にも、熱心で折れない気持ちで臨むことが 大事だと、この文に示されていると思います。そして私たちはその姿勢を守り、60年近く続けて参りました。苦難に折れない気持ちと言うのは社会人として当然の姿勢であります。しかしながら、現在の我々は多彩なアイディアを持ち寄って新しい事にチャレンジするといった事には、いささか苦慮しているのではないのでしょうか？新しい事、新事業・新形態・新企画…。長年続いてきたこの木青連で、今までにない新しい挑戦とは何なのか、模索を繰り返す前に考えを改めてみてはどうでしょうか。

皆さんは、東京のスカイツリーを建設するにあたり、参考にされた建築物が何かご存知ですか？参考にされたのは「法隆寺にある五重塔」なのだそうです。世界最古とも言われる、1300年以上も前に建てられた木造建築物である五重塔の「塔の中心部に心柱を構築し、塔内で地震の揺れを軽減する」という仕組みが「制震」という技術として 634メートルもの日本で一番高い建築物に採用されているのだそうです。先人の知恵を現代の私たちが活かす、まさに「温故知新」と呼べるものでしょう。

「温故知新」とは、元々、中国の思想家「孔子」が自分の弟子たちに言った言葉で、その意味は「古くからの伝えを大切に新しい知識を得て行くことが出来れば、人を教える師となる事が出来る。」と言う様な意味なのだそうです。今でもその本来の意味を残しつつ、「過去から続けていた事から新しいものを見出す」といった使われ方もされる様になりました。木青連が「過去から続けていた事」から「新しいものを見出す」としたら、それはどんなものがあるのでしょうか。

木青連は、戦後の混乱が冷めやらぬ時代に先輩諸兄が高い志と情熱を持って設立され、日本が戦後復興から高度経済成長を果たす一翼を担って参りました。そして、その後昭和から平成へ変わり、幾多の景気

の浮き沈みにも、柔軟でしなやかに順応し存続を続けて参りました。会の継続と仲間同士の結束が力となり、景気の波を乗り越えられたのだと思います。

バブル経済崩壊後の時には、長期に渡って景気に逆風が吹き荒れ、業界各社は非常に厳しい環境下での経営を強いられましたが、その時も木材界が一丸となり行政へ木材産業の社会的価値と役割をアピールしたことで、いまでは多岐に亘るサポートを受けられる様になりました。

また消費者へも、木工工作コンクールなどの木育や、木材活用コンクールなどで環境への配慮を訴え続けたことで、より多くの人々が木材に関心を寄せることとなり、これからの木材の全体的な利用アップに役立っており、この点からも木材界の景気の風向きが徐々にではありますが追い風へと転じてきている好材料となっております。

これらは木青連がその長い歴史の中、継続してきた「温故」がいまに表れているものだと思います。

ならば「知新」とはどういったものがあるのでしょうか。先輩諸兄が「五重塔」ならば今の我々が「スカイツリー」となる為にどういった事を学ばばよいのでしょうか？社会が地震の様に揺れ動くとき、「制震」の仕組みを今の私たちはどうやって作り上げていけばよいのでしょうか。その答えを探すことを、私はこの一年で命題として「不屈の精神」で取り組んでいきたいと思います。

30年続いてきた「平成」から新年号に代わるこの時に、皆さんと共に「昭和」から続く木青連の“新しい時代の航海”を始めていきましょう。もし航路に迷いそうになっても心配はありません。私たちには先輩諸兄が残した「英知」というコンパスがあるのでありますから。

平成30年度 事業計画(案)

【1】長野県木青連が基本方針に基づき、会員、単位会団、ブロック並びに関係諸団体と連携して行う会議

- (1) 定時総会
- (2) 理事会
- (3) 県、中部森林管理局、県木連、関係団体との懇談会

【2】長野県木青連が主催し、各単位会団、個人会員に協力を依頼して行う事業

- (1) 第59回県会員中信大会
- (2) 第41回長野県児童・生徒木工工作コンクール
- (3) PRカレンダーの斡旋
- (4) 木工教室
- (5) 会員拡大
- (6) 木青連だよりの発行
- (7) 木青連の森ラブグリーン事業
- (8) 木青連OB交流事業

【3】各単位会団、ブロックが主催し長野県木青連が協力して行う事業

- (1) 木材PR事業

【4】日本木青連が主催し、各単位会団、各県木青連に協力を依頼して行う事業

- (1) 第63回全国会員東京大会
- (2) 第43回全国児童・生徒木工工作コンクール
- (3) 第22回日本木青連木材活用コンクール
- (4) ウッディレターの配信
- (5) 総会、理事会、委員会

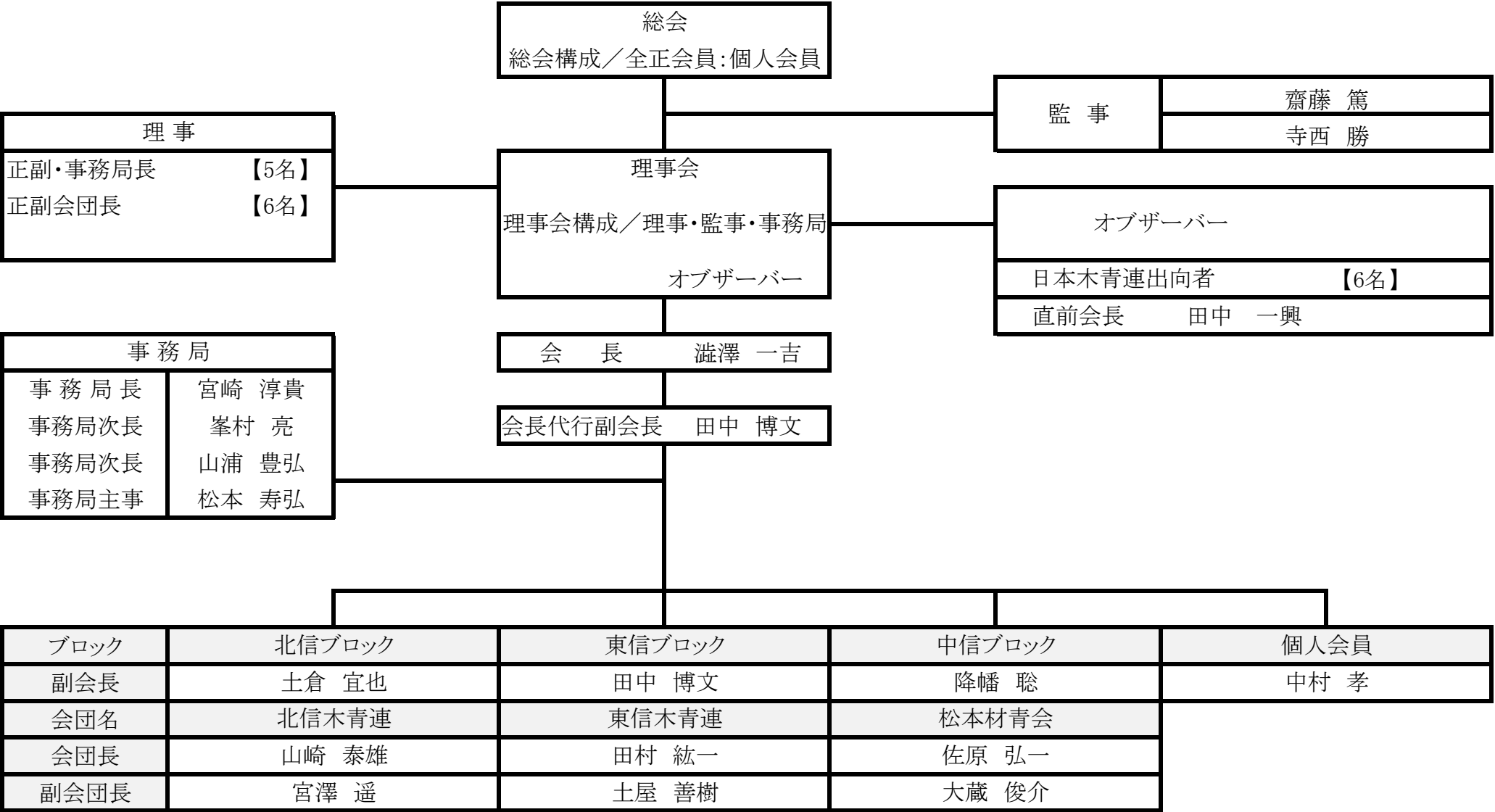
【5】地区協議会が主催し、各単位会団、各県木青連に協力を依頼して行う事業

- (1) 北信越地区会員大会
- (2) 北信越地区協議会

【6】関係諸団体等が主催し、長野県木青連、ブロック、単位会団が協力して行う事業

- (1) 長野県県産材振興対策協議会が主催する事業
- (2) 長野県木材協同組合連合会が主催する事業
- (3) 長野県木材振興基金が主催する事業
- (4) 県、中部森林管理局等が主催する事業

平成30年度 長野県木材青壮年団体連合会 組織図(案)



運営・活動・職務分担(案)

(1)正副会長

役職名	氏 名	担当職務内容
会 長	澁澤 一吉	1) 全体包括
直前会長	田中 一興	1) 包括意見
会長代行副会長	田中 博文	1) 会長職務補佐・代行
		2) 理事会議長
		3) 次年度関係包括
		4) PR活動(カレンダー斡旋)担当
		5) OB交流会担当
副会長	土倉 宜也	1) 総務・財務担当
		2) 理事会・諸会議企画運営進行
副会長	降幡 聡	1) 児童生徒木工工作コンクール担当

(2)監事

役職名	氏 名	担当職務内容
監 事	齋藤 篤	1) 事業・財務監査担当
監 事	寺西 勝	1) 事業・財務監査担当

(3)事務局

役職名	氏 名	担当職務内容
事務局長	宮崎 淳貴	1) 事務局統括担当
		2) 木青連だより編集担当
		3) ホームページ担当
事務局次長	峯村 亮	1) 事務局長補佐担当
		2) 次年度関係事務担当
事務局次長	山浦 豊弘	1) 事務局長補佐担当
		2) 木青連だより編集担当
		3) 次年度関係事務担当
事務局主事	松本 寿弘	1) 関係団体渉外担当
		2) 文章・資料保管事務担当
		3) ホームページ補佐担当

平成30年度 事業日程(案)

長野県木材青壮年団体連合会			北信越地区協議会		日本木材青壮年団体連合会	
月	日	内容	日	内容	日	内容
3月	19(月)	正副事務局引き継ぎ会議(長野)			9(金)	第1回理事予定者会議(東京)
4月	14(土)	理事予定者会議(長野)			6(金)	新任挨拶廻り(常任理事以上)
	28(土)	第59回県会員中信大会・定時総会			7(土)	第1回理事会(東京)
5月					11(金)	第2回理事会(東京)・第125回通常総会
					12(土)	全国大会(東京)
6月	2(土)	第1回正副会長・事務局会議			30(土)	第3回理事会(北海道)
		第1回理事会				
7月	17(土)	第2回正副会長・事務局会議	未定	第1回北信越地区協議会(石川)		
		第2回理事会				
8月						
9月					15(土)	第4回理事会(名古屋)
10月					28(土)	
11月	未定	木工工作コンクール審査会(松本)	未定	第2回北信越地区協議会(長野)	17日(土)	第5回理事会(岩手)
		第3回正副会長・事務局会議				
		第3回理事会				
12月	未定	木工工作コンクール表彰式				
31年 1月					18(金)	新年挨拶廻り(常任理事以上)
					19(土)	第6回理事会(東京)
2月	23(土)	第4回正副会長・事務局会議	9(土)	第3回北信越地区協議会(福井)		
		第4回理事会		北信越地区協議会福井会員大会		
3月	未定	正副事務局引き継ぎ会議			16(土)	第7回理事会・第126回臨時総会(東京)

平成30年度 出向者(案)

(1) 日本木材青壮年団体連合会

理事	木材活用委員会 委員長	田 中 俊 章	【東信木青連】
理事	会団長理事	澁 澤 一 吉	【北信木青連】
理事	木材活用委員会 副委員長	土 倉 宜 也	【北信木青連】
	木材活用委員会 副委員長	寺 西 勝	【松本材青会】
	木材活用委員会 委員	宮 崎 淳 貴	【北信木青連】
	木育推進委員会 副委員長	印 出 晃	【松本材青会】

(2) 日本木材青壮年団体連合会 北信越地区協議会

県会団代表	澁 澤 一 吉	【北信木青連】
県会団代表	田 中 博 文	【東信木青連】
県会団代表	宮 崎 淳 貴	【北信木青連】
県会団代表	山 浦 豊 弘	【東信木青連】

(3) 長野県木材産業振興基金

理事	澁 澤 一 吉	【北信木青連】
理事	田 中 博 文	【東信木青連】
評議員	土 倉 宜 也	【北信木青連】
評議員	宮 崎 淳 貴	【北信木青連】

(4) 長野県県産材振興対策協議会

理事	澁 澤 一 吉	【北信木青連】
幹事	宮 崎 淳 貴	【北信木青連】

(5) 長野県木材産業政治連盟

副会長	澁 澤 一 吉	【北信木青連】
委員	田 中 博 文	【東信木青連】

(6) (公財)長野県緑の基金

評議員	澁 澤 一 吉	【北信木青連】
-----	---------	---------

平成30年度長野県木青連役員・出向者(案)

区 分	役 職	シ 氏 名	所 属	ブ ロ ッ ク	備 考
理事	会 長	澁澤 一吉	北信木青連	北信	
	直前会長	田中 一興	松本材青会	中信	
	監 事	齋藤 篤	東信木青連	東信	
	監 事	寺西 勝	松本材青会	中信	
理事	代行副会長	田中 博文	東信木青連	東信	
理事	副会長	土倉 宜也	北信木青連	北信	
理事	副会長	降幡 聡	松本材青会	中信	
理事	北信木青連 会団長	山崎 泰雄	北信木青連	北信	
理事	北信木青連 副会団長	宮澤 遙	北信木青連	北信	
理事	東信木青連 会団長	田村 紘一	東信木青連	東信	
理事	東信木青連 副会団長	土屋 善樹	東信木青連	東信	
理事	松本材青会 会団長	佐原 弘一	松本材青会	中信	
理事	松本材青会 副会団長	大蔵 俊介	松本材青会	中信	
理事	事務局長	宮崎 淳貴	北信木青連	北信	
	事務局次長	峯村 亮	北信木青連	北信	
	事務局次長	山浦 豊弘	東信木青連	東信	
	事務局主事	松本 寿弘	県木連		
日本木青連 出向	木材活用委員会 委員長	田中 俊章	東信木青連	東信	
日本木青連 出向	会団長	澁澤 一吉	北信木青連	北信	
日本木青連 出向	木材活用委員会 副委員長	土倉 宜也	北信木青連	北信	
日本木青連 出向	木材活用委員会 副委員長	寺西 勝	松本材青会	中信	
日本木青連 出向	木材活用委員会 委員	宮崎 淳貴	北信木青連	北信	
日本木青連 出向	木育推進委員会 副委員長	印出 晃	松本材青会	中信	
北信越地区 出向	北信越地区協議会 県会団代表	澁澤 一吉	北信木青連	北信	(県会長)
北信越地区 出向	北信越地区協議会 県会団代表	田中 博文	東信木青連	東信	(県代行副会長)
北信越地区 出向	北信越地区協議会 県会団代表	宮崎 淳貴	北信木青連	北信	(事務局長)
北信越地区 出向	北信越地区協議会 県会団代表	山浦 豊弘	東信木青連	東信	(事務局次長)
協力企業	オブザーバー	日野原 和仁	共立プランニング		

平成30年度 収支予算(案)

【収入の部】

大項目	中項目	前年度予算	平成30年予算	摘要
会費収入	会員割会費	364,000	374,400	@10,400×36名
	PR会費	1,050,000	1,080,000	@30,000×36名
	小計	1,414,000	1,454,400	
事業収入	補助事業	700,000	1,050,000	県補助事業
	PRカレンダー	1,400,000	1,400,000	PRカレンダー幹旋事業
	日本木青連カレンダー	50,000	50,000	PRカレンダー幹旋事業
	小計	2,150,000	2,500,000	
その他収入	木材産業振興基金	200,000	200,000	
	ウッディレター購読料	88,400	91,000	@2,600×35名
	雑収入	100,559	100,600	木工品販売等
	小計	388,959	391,600	
	収入小計	3,952,959	4,346,000	
前期繰越金		1,532,041	1,500,000	
収入合計		5,485,000	5,846,000	

【支出の部】

大項目	中項目	前年度予算	平成30年予算	摘要
負担金	県産材振興対策協議会	30,000	30,000	
	日本木青連	156,400	161,000	会費@4600×35名
	その他	150,000	150,000	関係外部団体等会費ほか
	小計	336,400	341,000	
PR事業費	会団PR事業費	204,000	210,000	添付資料参照
	県木工工作コンクール事業費	1,300,000	1,300,000	
	県PR事業費	300,000	300,000	
	PRパンフレット印刷費	20,000	20,000	木工品販売チラシ
	IT関連費	8,000	8,000	ホームページ維持費ほか
	PRカレンダー	1,250,000	1,250,000	PRカレンダー幹旋事業
	日本木青連カレンダー	43,000	43,000	PRカレンダー幹旋事業
	ウッディレター購読料	81,600	84,000	@2,400×35名
	木青連の森ラブグリーン事業	100,000	100,000	タイムカプセルオープン記念式典
	小計	3,206,600	3,315,000	
大会費	県大会開催費	200,000	200,000	
事業運営費	理事会・正副事務局会議・諸会議費	150,000	150,000	日本出向交通費@2000円を含む
	県木連・県林務部等懇談会費	50,000	50,000	
	北信越地区会員大会費	-	-	
	親睦事業費	100,000	100,000	県木青連OB交流会
	小計	300,000	300,000	
事務局費	印刷費	300,000	300,000	会員手帳・木青連だより・その他
	通信費	30,000	30,000	振込手数料・切手代・運搬費
	慶弔費	50,000	50,000	
	雑費	50,000	50,000	
	小計	430,000	430,000	
	予備費	1,012,000	1,260,000	
支出合計		5,485,000	5,846,000	

収入合計		5,485,000	5,846,000	
支出合計		5,485,000	5,846,000	
差額		0	0	

(第3号議案)

【会費明細書】

会団名	会員数	単価	会員割会費	単価	PR会費	合計
北信木青連	10 名	13,000	130,000	30,000	300,000	430,000
東信木青連	10 名	13,000	130,000	30,000	300,000	430,000
松本材青会	15 名	13,000	195,000	30,000	450,000	645,000
個人会員	1 名	10,400	10,400	30,000	30,000	40,400
合計	36 名		465,400		1,080,000	1,545,400

※ 会員割会費@13, 000円 = 会費@10, 400円 + ウッディレター購読料@2, 600円

【会団PR会費拠出額】

会団名	拠出額	備考(PR会費の20%)
北信木青連	60,000	300,000 × 20 %
東信木青連	60,000	300,000 × 20 %
松本材青会	90,000	450,000 × 20 %
合計	210,000	1,050,000 × 20 %

第59回県会員中信大会開催(案)

日 時 平成30年 4月28日(土)

場 所 松本 ホテルブエナビスタ

長野県松本市本庄 1-2-1

TEL 0263-37-0111

スケジュール	平成30年度 新旧正副会議	13:00～13:30
	平成29年度 臨時理事会	13:40～13:40
	定時総会	15:00～16:00
	県会員大会式典	16:30～16:50
	県大会・懇親会	17:00～19:30

登 録 料 10,000円

会団長各位

長野県木材青壮年団体連合会会長予定者
澁澤 一吉

登録料納入のお願い

平成 30 年 4 月 28 日（土）に開催されます「第 59 回県会員中信大会」の参加人数を把握したいと考えております。予算が厳しい中、実数を把握する事により幾分かでも経費を圧縮出来るかと考えておりますので皆様のご協力をお願い致します。

記

提出期限 平成 30 年 4 月 20 日（火）

報告先 監事予定者 寺西 勝
TEL 0263-25-0171
FAX 0263-25-8772
携帯 090-7286-1039
Email: teranishi@rinyuwood.co.jp

以上

会 団 名 _____

参加人数 _____ 名(当日出席できる人数)

振り込み ・ 当日持参 どちらかに○をお願いします。

大会登録料

会団名	会員数	単価	会団割会費
北信木青連	10 名	10,000	100,000
東信木青連	10 名	10,000	100,000
松本材青会	15 名	10,000	150,000
個人会員	1 名	10,000	10,000
合計	36 名		360,000

振込の場合

振込銀行名

八十二銀行 村井支店 (4 1 6)

振込口座番号

口座番号 普通 429163

口座名義 松本材青会

※送金手数料はご負担をお願い致します。

納入期限

平成29年4月20日

全会員登録となっておりますので宜しくお願い致します。